
0007. メール型宛先管理登録 呼出し

業務コード	業務名
UOM11	メール型宛先管理登録呼出し

1. 業務概要

入力元データ送受信処理方式がメール処理方式であり、出力パターンがI N Q型／E X Z型の宛先について、出力先のメールボックスI Dまたは出力端末名を出力情報コード単位に呼び出す。

呼び出された情報は、「メール型宛先管理登録（UOM）」業務により訂正を行うことを可能とする。

2. 入力者

全利用者（税関、厚生労働省（食品）、動物検疫所、植物防疫所、入管（航空）、検疫所（人・航空）、厚生局等、輸出証明書等発給機関は除く）

3. 制限事項

なし。

4. 入力条件

(1) 入力者チェック

システムに登録されている利用者であること。

(2) 入力項目チェック

(A) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(B) 項目間関連チェック

なし。

(3) 利用者I D DBチェック

①入力された利用者I Dが利用者I D DBに存在すること。

②入力された利用者I Dの利用者コード（5桁）が入力者の利用者I Dの利用者コード（5桁）であること。

(4) 利用者DBチェック

入力された入力元メール種別が、入力された利用者I Dの利用者コード（5桁）が利用可能なメール種別であること。

(5) 出力情報コードDBチェック

入力された出力情報コードが出力情報コードDBに存在すること。

(6) メール型宛先管理DBチェック

入力された入力元メール種別と利用者I Dと出力情報コードがメール型宛先管理DBに存在するか否かのチェックを行う。

5. 処理内容

(1) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-0000-0000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-0000-0000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

(2) メール型宛先管理呼出情報編集処理

メール型宛先管理DBより編集処理を行う。

(3) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

6. 出力情報

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
メール型宛先管理呼出情報	なし	入力者

7. 特記事項

CSFオンラインメンテナンス規制時間帯DBにて定められた時間帯は業務規制時間帯となり、当該業務を実施することができない。(規制時間帯は別途定めることとする)